

リモートI/O R7F4HEIP シリーズ		
取扱説明書	EtherNet / IP 用、マイナスコモン (NPN 対応) トランジスタ 32 点出力、コネクタ形スプリング式端子台 少点数入出力ユニット	形 式
		R7F4HEIP-DC32A-4

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・接点出力ユニット1 台
- ・縦・壁取付用スライダ2 個

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

■EDS ファイル

EDS ファイルは弊社のホームページよりダウンロードが可能です。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策（例：電源、入出力にノイズフィルタ、クランプフィルタの設置など）は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●供給電源

- ・許容電圧範囲、消費電流
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合
24 V DC $\pm$ 10 %、約 80 mA

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため、必ず電源および出力信号を遮断して下さい。
- ・端子台の取外または取付を行う場合は、危険防止のため、必ず電源および出力信号を遮断して下さい。
- ・本器のスイッチ類は、通電時に操作しないで下さい。スイッチによる設定変更は、電源が遮断された状態で行って下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 $\sim$ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 $\sim$ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。
- ・縦取付時は放熱のため、本体の左右に 10 mm 以上のスペースを設けて下さい。

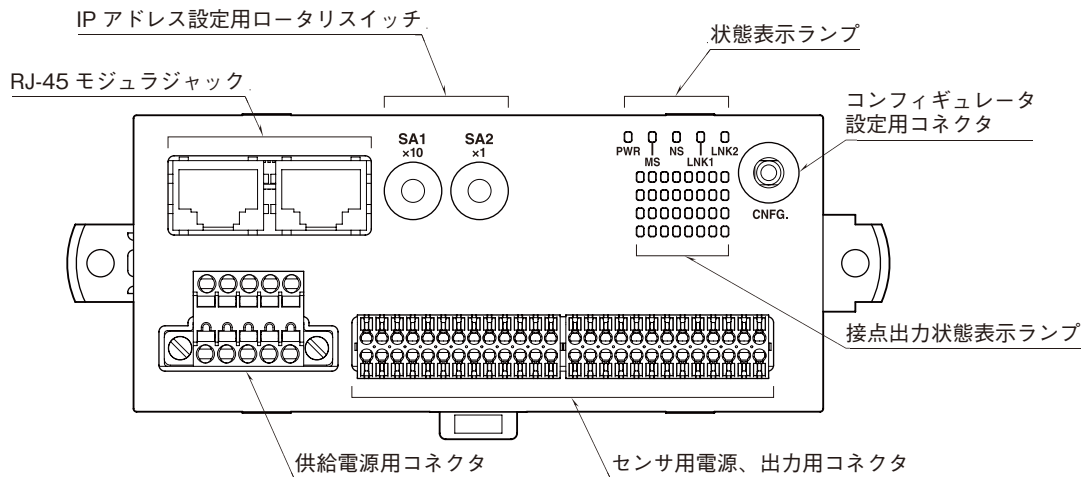
●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

各部の名称

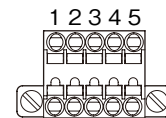


■状態表示ランプ

ランプ名	状 態	ランプ表示色	表示内容
PWR	点灯	緑色	内部電源正常時
MS	点灯	緑色	正常状態
	点滅	赤色	IP アドレス重複時、内部データ異常時
NS	点灯	緑色	通信接続完
	点滅	緑色	通信未接続
	点灯	赤色	IP アドレス重複時
LNK1	点滅	赤色	通信タイムアウト時
LNK1	点灯	緑色	リンク 1 確立時
LNK2	点灯	緑色	リンク 2 確立時

■供給電源

適合コネクタ:TFMC1,5/5-STF-3,5(フェニックス・コンタクト製)
(本器に付属)
適用電線サイズ:0.2~1.5mm²
剥離長:10mm
推奨圧着端子:
・AI0,25-10YE 0.25mm²(フェニックス・コンタクト製)
・AI0,34-10TQ 0.34mm²(フェニックス・コンタクト製)
・AI0,5-10WH 0.5mm²(フェニックス・コンタクト製)
・AI0,75-10GY 0.75mm²(フェニックス・コンタクト製)
・A1-10 1.0mm²(フェニックス・コンタクト製)
・A1,5-10 1.5mm²(フェニックス・コンタクト製)



- ①FE 機能接地
- ②NC —
- ③NC —
- ④+24V 供給電源 (24V DC)
- ⑤0V 供給電源 (0V)

■接点出力状態表示ランプ

各出力の状態をランプ（緑色）で表示します。

ON：点灯

OFF：消灯

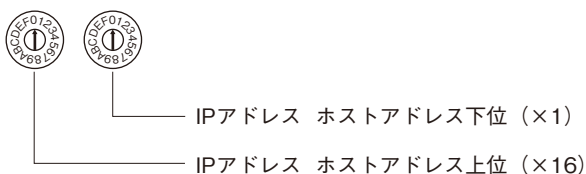
■IP アドレス設定

IP アドレスのホストアドレス（16 進数）の上位桁を SA1 で、下位桁を SA2 で設定します。コンフィギュレータソフトウェア（形式：R7CFG）で設定した IP アドレスのホストアドレスを使用する場合は 00H に設定して下さい。

ネットワークアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを変更して使用する場合はコンフィギュレータソフトウェアで設定して下さい。

(設定可能範囲：00H～FFH)

(工場出荷時設定：00H)



R7F4HEIP—DC32A—4

■センサ用電源、出力端子配列

適合コネクタ: DFMC0,5/13-ST-2,54 (フエニックス・コンタクト製) (本器に付属)

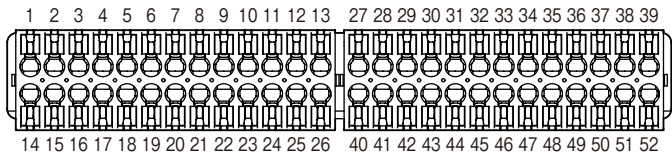
適用電線サイズ: 0.14~0.5 mm²

剥離長: 7 mm

推奨圧着端子:

- ・ AI0,14-6GY 0.14 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ AI0,14-8GY 0.14 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ AI0,25-6YE 0.25 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ AI0,25-8YE 0.25 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ A0,25-7 0.25 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・ A0,34-7 0.34 mm² (フエニックス・コンタクト製)

注) 剥離長と推奨圧着端子の長さが合致しない場合、圧着端子が長いときは圧着後に切断、短いときは導線を飛び出させることにより剥離長 7 mm に合わせるようにして下さい。



端子番号	信号名	機 能	端子番号	信号名	機 能
1	+24V1	24V DC	27	+24V2	24V DC
2	Y0	出力 0	28	Y16	出力 16
3	Y2	出力 2	29	Y18	出力 18
4	+24V1	24V DC	30	+24V2	24V DC
5	Y4	出力 4	31	Y20	出力 20
6	Y6	出力 6	32	Y22	出力 22
7	+24V1	24V DC	33	+24V2	24V DC
8	Y8	出力 8	34	Y24	出力 24
9	Y10	出力 10	35	Y26	出力 26
10	+24V1	24V DC	36	+24V2	24V DC
11	Y12	出力 12	37	Y28	出力 28
12	Y14	出力 14	38	Y30	出力 30
13	+24V1	24V DC	39	+24V2	24V DC

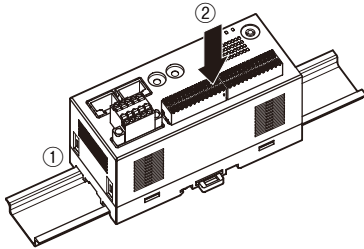
端子番号	信号名	機 能	端子番号	信号名	機 能
14	GND1	0V	40	GND2	0V
15	Y1	出力 1	41	Y17	出力 17
16	Y3	出力 3	42	Y19	出力 19
17	GND1	0V	43	GND2	0V
18	Y5	出力 5	44	Y21	出力 21
19	Y7	出力 7	45	Y23	出力 23
20	GND1	0V	46	GND2	0V
21	Y9	出力 9	47	Y25	出力 25
22	Y11	出力 11	48	Y27	出力 27
23	GND1	0V	49	GND2	0V
24	Y13	出力 13	50	Y29	出力 29
25	Y15	出力 15	51	Y31	出力 31
26	GND1	0V	52	GND2	0V

取付方法

■DIN レール（横）取付

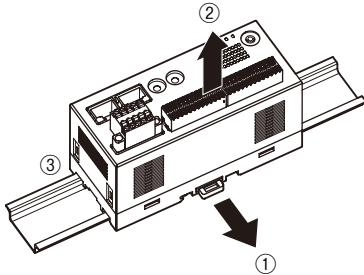
・取付の場合

- ① 本体裏面の upper フックを DIN レールに掛けます。
- ② 本体下側を押込みます。



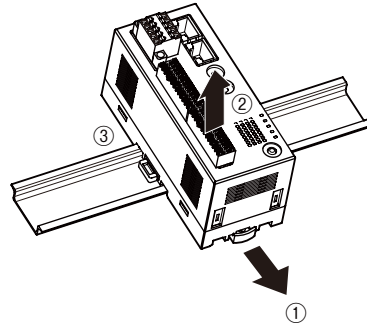
・取外の場合

- ① マイナスドライバーなどでスライダを下に押下げます。
- ② 手前に引いて本体下側を取外します。
- ③ 本体上側を DIN レールから取外します。



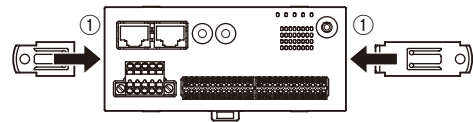
・取外の場合

- ① マイナスドライバーなどでスライダを下に押下げます。
- ② 手前に引いて本体下側を取外します。
- ③ 本体上側を DIN レールから取外します。

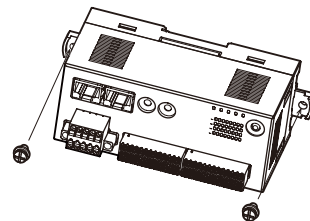


■壁取付

- ① 下図のように付属の 2 つのスライダを本体背面のレールに合うようにセットし、1 回カチッと音がするまで挿入して下さい。



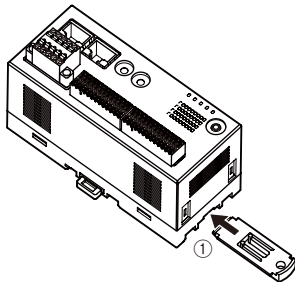
- ② 取付寸法図を参考に、M4 ねじで取付けて下さい。
(締付トルク：1.4 N・m)



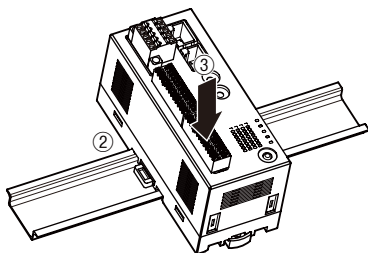
■DIN レール（縦）取付

・取付の場合

- ① 下図のように、付属の長いスライダを本体背面のレールに合うようにセットし、2 回カチッと音がするまで挿入して下さい。



- ② 本体裏面の upper フックを DIN レールに掛けます。
- ③ 本体下側を押込みます。

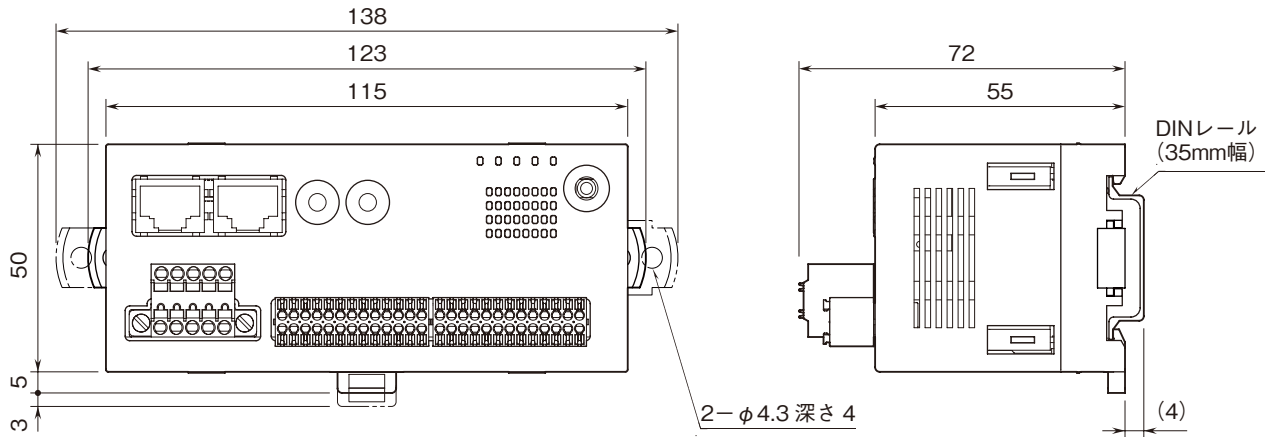


注) 本体の左右に 10mm 以上のスペースを設けて下さい。

接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

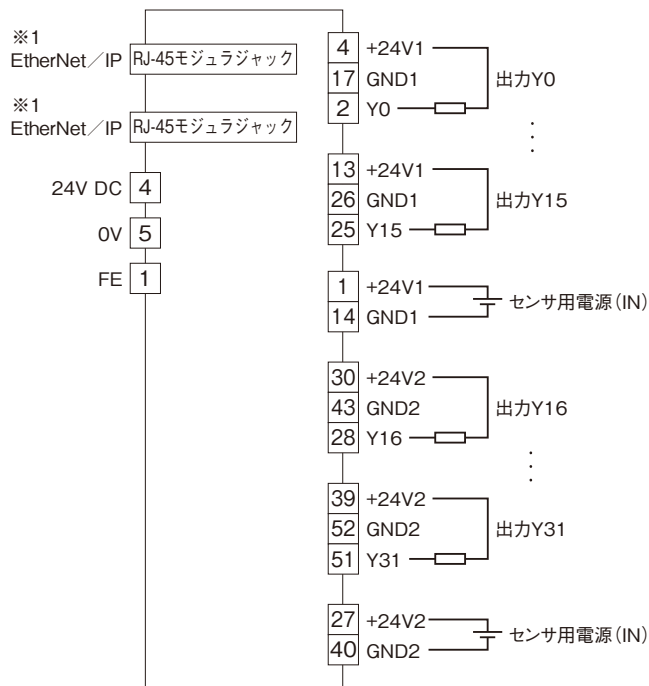
外形寸法図 (単位 : mm)



端子接続図

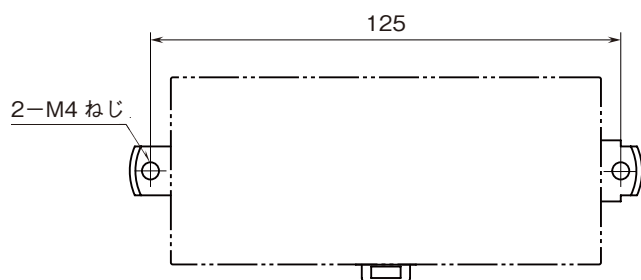
EMC (電磁両立性) 性能維持のため、FE 端子を接地して下さい。

注) FE 端子は保護接地端子 (Protective Conductor Terminal) ではありません。



※1、通信ケーブルはどちらにも接続できます。

取付寸法図（単位：mm）



コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。
コンフィギュレータソフトウェア（形式：R7CFG）の使用方法については、R7CFG の取扱説明書をご覧ください。

■チャンネル一括設定

項 目	設定範囲	初期値
Output Hold／Clear (通信断時出力)	Hold／Clear	Hold

■Ethernet 設定

項 目	設定範囲	初期値
IP Address	0.0.0.0～255.255.255.255	192.168.0.250
Subnet Mask	0.0.0.0～255.255.255.255	255.255.255.0
Default Gateway	0.0.0.0～255.255.255.255	192.168.0.1
TimeOut	0～32767 (0.1 秒)	30 (0.1 秒)

EtherNet/IP の接続確認

■IP アドレスの設定

R7F4HEIP は IP アドレスのホストアドレスを前面ロータリスイッチで設定します。コンフィギュレータソフトウェア（形式：R7CFG）で設定した IP アドレスのホストアドレスを使用する場合は 00H に設定して下さい。

ネットワークアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを変更して使用する場合はコンフィギュレータソフトウェアで設定して下さい。

■配線

パソコンなどと配線をします。

DLR（デバイス・レベル・リング）ネットワークとして使用する場合は、リング接続になるように配線します。また、DLR ネットワークでは最低でも 1 つのノードをリングスーパバイザとして構成する必要があります。

本器にはリングスーパバイザとしての機能はないので別途用意する必要があります。

■表示の確認

配線が正常な場合には状態表示ランプの LNK1 または LNK2 が点灯します。

■R7F4HEIP の接続確認

Windows のコマンドプロンプトから ping コマンドにて接続を確認します。

```
C : ¥WINDOWS > ping ***.***.***.***  
(***.***.***.*** は IP アドレスを 10 進数で入力します)
```

```
ping ***.***.***.*** with 32 bytes of data :  
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64  
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64  
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64  
Reply from ***.***.***.*** : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64
```

```
Ping statistics for ***.***.***.***  
Packets : Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss)
```

正常に接続する場合は、ping コマンドに対し上記のような返答があります。

IP アドレスが異なる場合など正常に接続できない場合にはタイムオーバなどの返答となります。

■アプリケーションとの接続

確認 1：リンク

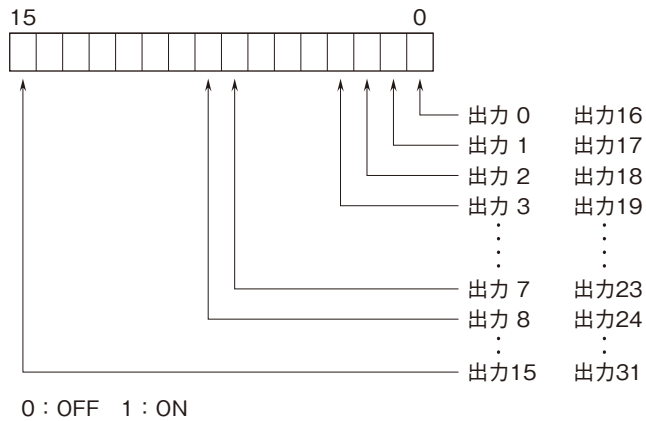
データの送受信にかかわらず、PC や PLC、ハブ等と正常に接続することにより状態表示ランプの LNK1 または LNK2 が点灯します。これらが点灯していない場合には、ハブの電源などを確認して下さい。

確認 2：MS、NS 表示ランプ

アプリケーションと正常に送受信を行うと MS、NS 表示ランプが緑色点灯します。

ビット配置

■接点出力



保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。